

平成28年度「未来づくり懇談会」議事録（主旨要約）

□日 時	5月30日（月）午後7時～午後8時45分
□会 場	勤労福祉センター
□参加者	町側10人、地区側18人

1. 町民憲章唱和

2. 町長あいさつ

同趣旨のため省略（5月10日（火）宮津公民館参照）

3. 懇談会テーマと質問事項等についての主旨要約

①高齢者と地域のつながり

配布資料に基づき民生部長説明。

内容は同趣旨のため省略（5月10日（火）宮津公民館参照）

質問（1）問題点が4つあるため南部宅老所を廃止していただきたい。1点目、利用者は資産家・区長経験者・高額年金受給者の家庭が多く、いわゆる勝ち組の家庭のおばあさんばかりで負け組のおばあさんは見たことがありません。2点目、町委託金が120万円程出しており、利用者35人で割ると1人当たり3万4千円弱。草木宅老所では1人当たり12万円弱、ふれあい・いきいきサロン事業では1事業当たり年間3万円。3点目、南部学区の民生委員は慣例で全員が南部宅老所の運営委員や役員に組み込まれます。女性民生委員においては負担が重いため、体を壊す人が続出しています。また不本意な思いを残して早死にした人もいます。4点目、共産党がこの宅老所を自慢しており、民生委員が中心になって共産党を支援しているようで誤解を招きかねない状況です。（矢口）

答）町内に宅老所は4カ所あり、通われている高齢者や地域の方に偏りはあるかもしれませんが、介護予防という点で大きく位置付けられています。そこで支える地域の方についてもかなり高齢化してきていますが、利用者のお世話をすることで介護予防や生きがいになり、相乗効果があると考えています。限られた人しか利用していないのはPRが不足しています。高齢者施策として、いきいきクラブが行うサロンや小地域福祉活動など、地域で支え合う活動を進めていきたいと考えていますが、宅老所を廃止してまで新しい事業を行う予定はありません。宅老所を生きがいとして利用される方がいる限り、続けていきたいと考えています。（民生部長）

関連質問）草木学区と南部学区は、宅老所の運営に民生委員が深く関わり、会長など執行部をやっています。特に女性は、ボランティアが大変で、体を壊したり、耐えられなかったりする方がいます。民生委員に慣例でやらせることをやめさせてほしいです。（矢口）

答) 民生委員だからという責任感で、無理に体を壊してまでお世話をするという強制的なものではなく、あくまでボランティアなので本人の価値観に任せています。また、町から民生委員に対して、強制的に参加してくれとはお伝えしていません。(民生部長)

関連質問) 女性が特に気の毒なため、民生委員があえてやらなくてもいい、本当に気持ちのある人だけでいいということを、民生委員に分かるように役場から指導してください。

(矢口)

答) 民生委員の職務として、地域の福祉に従事することは大きなテーマですが、強制的に体を壊してまで参加するということはありません。ボランティアであり、本人の意思で参加していただくため、あえて民生委員さんは協力しなくてもいいですよということとは筋違いだと思いますが、現状について民生委員協議会に提示させていただきます。

(民生部長)

情報確認) 矢口地区で6月にサロンを行うと聞きましたが、どのような状況でしょうか。

(民生部長)

答) いきいきクラブが中心でやっていただきます。6月から毎月第1月曜日の午前中2時間ぐらいで行われ、矢口地区の方なら誰でも参加できます。(矢口)

関連質問) 椋岡のサロンについては把握していませんか。(椋岡)

答) 若干噂は聞いていますが、はっきりといつから始まるかは聞いていません。もしよかったら状況を教えてください。(民生部長)

答) 補助金申請もしてあります。6月19日に行います。(椋岡)

関連質問) いきいきクラブの会長会議で、友愛活動としてサロン活動や訪問活動があるからぜひ地区で行ってくださいと言われました。地区でサロン活動をやりたいという声が上がったため、いきいきクラブが行うことで話が進みました。実際始めようとする、いきいきクラブの会員だけでなく、広く地区全員に参加してもらおうこととなり、ボランティアを募集することになりました。たくさんの応募があり、運営をボランティアの方をお願いすることになりました。最終的に、申請はいきいきクラブで行いましたが、実際は小地域福祉活動という感じになってしまいましたが何か問題はありますか。(椋岡)

答) 特に問題ありません。それぞれの地域が活動しやすい方で始めていただくことが理想です。いずれにしても社会福祉協議会の事業の一環で、どちらで行っても1事業3万円補助されます。サロン活動は、いきいきクラブ連合会に納められた分担金を地域の活動しているところに還元し、小地域福祉活動は、社会福祉協議会の会費から地域に還元するもので、出所は違いますが大きい意味では同じ地域をつなぐサロンです。また1年の事業であ

るため、翌年度変更していただいても構いません。（民生部長）

②ゴミの減量化

配布資料に基づき建設経済部長説明。

内容は同趣旨のため省略（5月10日（火）宮津公民館参照）

質問（1）ゴミがたくさん出るということは豊かな生活を送っていると考えられることもできます。以前は地区の清掃奉仕などで出た草は燃やしていたが、今は東部知多クリーンセンターへ持ち込んでいるため増えていると思います。以前のように燃やしてもいいということであれば、各地区で年間1トンぐらいは減ると思います。また、家庭で出た紙も昔は燃やしていましたが、今は燃やしている家は周りに一軒もありません。全てゴミとして出すのですが、個人情報で見せたくないものもあるため、資源ゴミではなく可燃ゴミとして出しています。それも家で燃やすことができればゴミは減ると思います。（棕岡）

答）家庭などで紙や草を燃やすことはやめてください。個人情報の部分だけハサミで切ったり、マジックで塗ったりするか、気になる部分以外を資源ゴミとして出してもらえたらと思います。また、草を東部知多クリーンセンターへ直接持って行っていただくことは大変ありがたいことです。できましたら、草を抜いたらそのまま袋に入れるのではなく、2～3日乾かしてから袋に入れていただければ軽くすることができるのでご協力をお願いします。（建設経済部長）

質問（2）ゴミ当番を年に数回行いますが、ひどい捨て方をしているゴミ袋を目にします。小学校の夏休みの宿題などで分別の仕方をやらせると、先生や大人も覚えることができるのではありませんか。（矢口）

答）皆さんにお配りしているゴミカレンダーに分別の方法が書いてありますので参考にしてください。分別について何かご不明な点がございましたら、建設環境課環境係までお問い合わせください。（建設経済部長）

4. 参加者との懇談

《町政全般に関して意見交換》の主旨要約

質問（1）町民憲章に「歴史と伝統を守り教養を高めます」と書かれていますが、虫供養に対して町はどのように考えていますか。また、虫供養には莫大なお金がかかるため、地区にとって相当負担です。（棕岡）

答）掛軸が町指定文化財になっているため、保存・維持のために年間5万円を町が補助しています。また、独立行政法人日本芸術文化振興会が行っている芸術文化振興基金の助成事業を活用すると、飲食代を除く1/2の経費について補助されます。（教育部長）

関連質問) 1 / 2 補助されるということですが上限はありますか。また、補助金はいつ交付されますか。(棕岡)

答) 上限はないと思います。補助金は実績報告後に交付されます。(教育部長)

関連質問) 町主催で虫供養を行うことはできませんか。また、保管場所を提供していただくことはできませんか。(棕岡)

答) 虫供養を町主催でやることは、宗教的な問題があるためできません。保管場所について、文化財である掛軸を町が保管することは可能ですので、必要なスペースを教えていただければ幹部会などで検討していきたいと思います。ただし、虫干しなどの行事は地区で行っていただきます。(町長)

質問(2) 水路の整備工事に対し一昨年から要望書を出させてもらっています。昨年度分筆測量が行われましたが、地区としても重要な水路であるため、昨年度あえて地区からの要望として区長と町議の連名の要望書に、地主の要望書を添付して提出しました。地主の要望書には、工事に対する具体的な要望が4点ほどありましたが、そのうち1つは来年度(平成27年度)実施するため要望書から外してもらいたいと言われ、再提出させてもらいました。今年度の予算と具体的な工事時期、施工方法について説明してください。(棕岡)

答) その水路については、土地の交換となっています。名義が変わらないと工事はできないため所有権移転させてもらいました。工事について具体的な内容をここではお話しすることができないため、後日来庁していただきご説明したいと思います。(建設経済部長)

関連質問) 所有権移転は今年の3月で、前年度の段階で所有権移転が済んでいます。(棕岡)

答) 3月に所有権移転しても予算はその前に組んでしまっています。その辺の経緯がずれていると思うので一度来庁していただきご説明したいと思います。(建設経済部長)

告知) 阿久比町のマスコットキャラクター「アグピー」が、今年も東海3県の公共団体などのキャラクターを対象としたJIMOキャラ総選挙にエントリーしています。知多半島からは「アグピー」だけが参加しているので、パソコンやスマホで「JIMOキャラ」と検索し、投票をお願いします。(建設経済部長)

情報提供) 5月22日付けの中間発表では、132ポイントで22位でした。皆さんの協力が必要です。(植)

5. 閉会あいさつ

本日は、大変お疲れ様でした。今年から少しやり方を変え、2つのテーマを決めて懇談

会を実施しました。この2つのテーマは、一番身近で一番大事な事業ですが、実施する上でいろいろと難しいところがあります。特に高齢者と地域のつながりのテーマについては、どのようにしたら地域における福祉事業ができるのか、これからも地区と行政の連絡を密にして、地区の福祉の自助公助に努めていきたいと思っておりますのでよろしくお願いします。

以上で、平成28年度未来づくり懇談会を終了します。(副町長)